

1 総括についての評価

本年度の学校の自己評価結果は概ね妥当である。「地域とのふれあい活動」や「運動会」「作品展」の実施など、児童にとって学びや気づきが多く、達成感を感じることのできる行事や取り組みを実施できたことは大きな成果である。また、いじめへの対応、不登校児童への支援など、一人一人を大切にし、個に応じた対応が進められていることは重要かつ安心できるものである。今後も、地域と学校が連携を深め、協働していくことで児童を育てるという方針を継続し、様々な取り組みを推進していくことを期待している。

2 年度目標（全市共通・学校園ごとの評価）

年度目標：安全・安心な教育の推進

- 1 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことがありますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。**⇒96.9%**
- 2 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。**⇒やや増加している。**
- 3 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。**⇒やや増加している。**
- 4 学校アンケート「学校の生活、学習は楽しいと思いますか」に、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。【R7末 86%】**⇒93.1%**
- 5 学校アンケート「学校のきまり（規則）を守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。【R7末 92%】**⇒93.6%**
- 6 学校アンケート「非常時や災害時にどのように身を守ればよいかがわかる」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。**⇒96.4%**
- 7 学校アンケート「スマホの危険性や適切な使い方について理解していますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。【R7末 80%】**⇒92.1%**
- 8 学校アンケート「自分は人の役に立つ人間になりたい」に対して、肯定的に回答する児童の割合を96%以上にする。【R7末 96%】**⇒95.1%**
- 9 学校アンケート「自分にはよいところがある」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。【R7末 77%】**⇒85.5%**
- 10 道徳教育推進教師研修・学校園運営研修（道徳教育）を受講して、自校の取組に活用する。
- 11 学校アンケート「自分には夢や目標がある」に肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。【R7末 80.5%】**⇒88.8%**
- 12 「『学校園における人権教育・啓発推進計画』実施計画」の年度末の目標達成評価において、最も肯定的な「達成できた」と回答できるよう取り組む。**⇒達成できた。**
- 13 特別支援教育に関する研修や巡回指導の活用等によって、教員の特別支援教育の専門性が向上し、校園内の指導・支援体制の充実を図る。
- 14 学校アンケート「学校では、ひとりひとりの『ちがい』を大切にすることを学んでいる」に肯定的に回答する児童の割合を93%以上にする。**⇒95.1%**

- ・自己評価結果は妥当である。
- ・いじめへの適切な対応が進められている。事実を把握した上で、いじめられた児童の思いや考え方を聞き取り、保護者と相談しながら丁寧に対応が進められている。また、いじめた側の行為を指導するという考え方のもと、適切に指導が進められている。
- ・不登校支援など、児童の居場所づくりのためにサポートルームやオンライン学習を進めるなど、先進的に取り組んでいることを評価したい。
- ・学校園の年度目標の8と11について、肯定的に回答した児童の割合の高さは、西三国小学校のこの間の取り組みが結実したものと考える。さまざまな取組により自己肯定感がはぐくまれ、一人一人が自身の良さを見つけることにつながっているのではないかと感じている。その肯定感を基盤にして「人の役に立ちたい」という他者への広がりが生まれているのではないかと考える。

年度目標：未来を切り拓く学力・体力の向上

- 1 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を48%以上にする。**⇒77.3%**
- 2 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。**⇒5年・6年の国語で達成。**
- 3 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を71%以上にする。**⇒84.3%**
- 4 「総合的読解力育成カリキュラム」に基づく読解力の育成に取り組みを導入し、年間で1単元以上取り組む。**【R7末 毎週1時間以上取り組む】⇒各学年1単元取り組んだ。**
- 5 学校アンケート「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」に最も肯定的に回答する児童の割合を45%以上にする。**【R7末 35%】⇒78.8%**
- 6 小学校学力経年調査において、算数科・国語科の正答率7割未満の割合を前年度より減少させる。**【R7末 国: 21%、算: 22%】⇒国: 8.3%、算7.7%**
- 7 学校アンケート「①朝の英語タイムにしっかりと取り組んでいる〔1年～6年対象〕」「②外国語の学習にしっかりと取り組んでいる〔3年～6年対象〕」に肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。**【R7末85%以上】⇒①86.5%、②91.4%**
- 8 学校アンケート「運動が好き」に最も肯定的に回答する児童の割合を68%以上にする。**【R7末 62.6%】⇒84.1%**
- 9 「1週間の総運動時間」が60分未満の児童の割合を15%以下とする。**【R7末 12.1%】⇒12.6%**
- 10 学校アンケート「手洗いを毎日している」に肯定的に回答する児童の割合を90%以上に保つ。**⇒92.9%**
- 11 学校アンケート「自分には夢や目標がある」に肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。**【R7末 80.5%】⇒88.8%**

- ・自己評価結果は妥当である。
- ・体力をさらに上げるために今年度の取り組みに加え、新たな取り組みなど、引き続き推進するための手立てを打ち、進めてほしい。
- ・「すいみん週間」など、学校による啓発が家庭や児童の意識を高め、アンケート結果につながっている。継続して取り組んでほしい。

年度目標：学びを支える教育環境の充実

- 1 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。
(ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く)**【R7末75%以上】⇒25%**
- 2 「学校園における働き方改革推進プラン」における教員の勤務時間の上限に関する基準を満たす教職員の割合について、【基準1】を49%【基準2】を76%とする。
(「プラン」における目標の達成) <9つの基本方向の目標>**⇒基準1、基準2ともに満たしている。**
- 3 ブロック化による学校支援事業報告の目標の達成状況において「目標どおり」又は「目標を上回る」よう取り組む。**⇒目標どおり達成。**
- 4 学校アンケート「読書がすき」に肯定的に回答する児童の割合を75%以上とする。**【R7末 76.5%】⇒70.1%**
- 5 学校図書館貸出冊数(児童生徒1人当たりの年間貸出冊数)を児童一人当たり38冊にする。
(本市調査)**【R7末 38冊】⇒42冊**
- 6 学校アンケート「学校では『地域とのふれあい活動』『お話し会』『防災訓練』など地域の方と一緒に活動することがある」に肯定的に回答する児童及び保護者の割合を90%以上とする。**【R7末 80%】⇒94.4%**

- ・自己評価結果は妥当である。
- ・学習者用端末の活用は必要であるが、紙ベースに書く活動とのバランスを考えながら活用を進めてほしい。
- ・図書館主幹司書の取り組みが素晴らしい。子どもが興味を引きやすいディスプレイ、配架や畳コーナーなど、読みやすい環境が整えられている。また、時節を考え、実際に木の実や種をディスプレイするなど、たくさんのしきけを作っている。来年度は主幹司書の配置がないということでは不安である。様々な取り組みを継続させてほしい。
- ・「地域とのふれあい活動」は、地域にとって活力になっている。児童と触れ合うことで元気をもらい、楽しみかつ有意義な取り組みになっている。今年度は「見守り隊ありがとう集会」が行われ、児童からのメッセージカードや集会など、すてきな会になり、地域の方も喜んでいた。

3 今後の学校運営についての意見

- ・全体を通して自己評価結果は妥当であり、学校が様々な取り組みを実施することで児童がのびのびと生活している様子を感じている。学級崩壊などが起きていないのは、学校が児童の思いや願いを受けとめ、指導しているからであると考える。
- ・「地域の中の学校」という思いをもち、地域とのふれあい活動や合同での防災訓練をはじめとして、学校と地域の連携を継続させてほしい。
- ・学習参観や運動会、作品展など、子どもたちの学びや成長につながる取り組みを今後も継続してほしい。